

医療安全情報 レポート

Vol.24

働くみんなの医療安全 車椅子事故が増えています!!

医療者が車椅子を支えて移乗させた際に患者の足がフットレスト（足置き）に接触して外傷を負った事例の報告や、移乗後に下肢の痛みを訴えたことから確認すると、皮膚が裂けて筋膜が露出していたなどの事故報告がされています。みなさんは患者移乗時、移乗後はどのような確認をしていますか？

事例 1



フットレストが下がったまま移乗した

事例 2



患者は抗炎症作用のあるプレドニンを内服、全身浮腫、皮膚が脆弱な状態であった。フットレストに打撲、出血が止まらなくなった。

車椅子周囲は大丈夫ですか？

事例 3



患者のスポンの裾が持ち上がり、下肢に直接フットレストがあたった。

【車椅子環境について】

- 車椅子移乗時、靴下と靴を着用し足を守るスポン式の寝衣やレッグカバーを着用する
- アームカバーを装着し、上肢の損傷を予防する
- ハンドリムを自力で操作する場合は、手の甲を保護するカバーを使用する
- 車椅子移乗介助時は、一人での移乗困難な場合には、無理に一人での移乗介助はしない。
- スライディングボードなどの補助具を活用する

車椅子の点検はしていますか？ まずは使用する前に点検しましょう！

車椅子の移乗時にはすぐに移乗せず患者さんの状態確認、周囲の確認をしてからにしましょう。焦っていると事故の元です!!